

『わー!水が飛び出た!』 3歳児 9月 伏見こども園



エピソード

水を入れて口を縛ったビニール袋を触ったり押したりしていると、小さな穴が開いて水が飛び出てきたのが面白かった子ども達。また水を入れると、「先生、手伝って」と保育者に声を掛け、一緒にビニール袋を握りました。力を込めて握りますがなかなか水は飛び出しません。近くで見ていた友達も気になり、一緒になってギュッとビニール袋を握り、「んー!」と指に力を込めました。すると針のように細い水がピューと飛び出して子ども達の顔にかかりました。「わあー!!!」と子ども達から歓声が上がり、「やったー!」「出た!」とやっと飛び出たことを喜んだり、顔が水で濡れた面白さを感じたりする姿が見られました。そして「もう一回しよう」とまたビニール袋を力いっぱい握り、飛び出させることを繰り返し楽しみました。

二学期になり、友達に興味をもつ姿が増えてきました。保育者が仲立ちをしたりともに遊んだりすることで水が飛び出すワクワク感や面白さを友達と一緒に感じてほしいと思いました。

「水を飛び出させたい」という思いのために子ども達はビニール袋を探して、もう一度水を汲みに行き、力いっぱい握っています。「面白いからもう一回したいな」という気持ちから行動に移せる力が育ってきたことを大切に、見守ったり必要に応じて手を添えたりしています。

子どもの育ちや学び

- ・いつ水が出てくるか、どこから飛び出すかがわからないワクワク感に面白さを感じています。
- ・近くにいる友達の存在を感じたり、していることに興味をもって一緒に遊ぶ楽しさを感じたりしています。
- ・水が飛び出した驚きや嬉しさを、自分なりの言葉や表情で表現しています。
- ・面白さを感じたことを繰り返し楽しんでいます。

家庭だったら・・・

大人にとっては「また?」と思うこともありますが、子ども達は何度も繰り返す中で実体験として自分の中に取り入れています。面白いことを何度もじっくり楽しむ姿を大切にしてあげてください。